

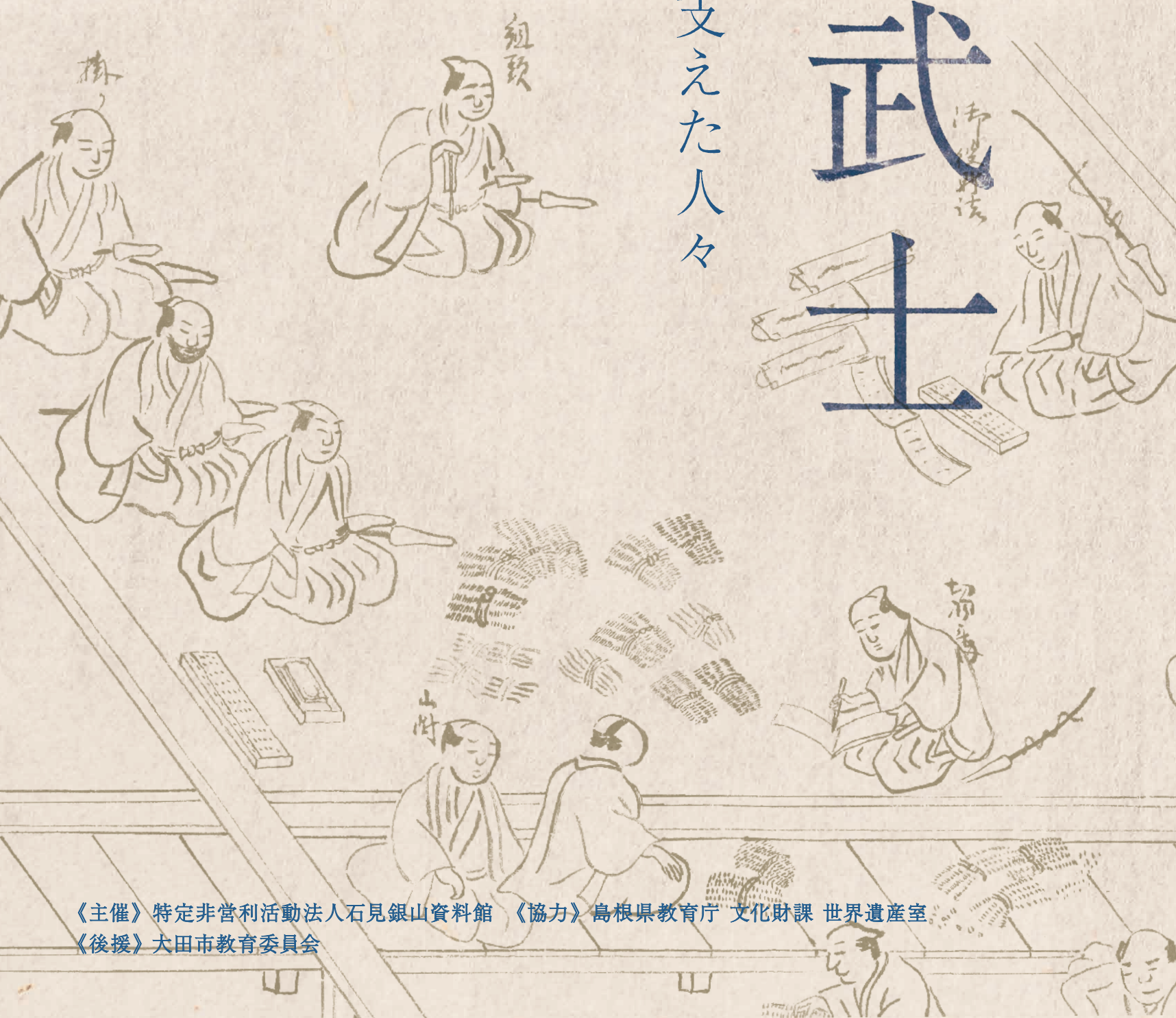
石見銀山資料館50周年特別展

2026

9/19^土
~ 12/6^日

石見銀山を支えた人々

鄙^{ひな}の武士



《主催》特定非営利活動法人石見銀山資料館 《協力》島根県教育庁 文化財課 世界遺産室
《後援》大田市教育委員会

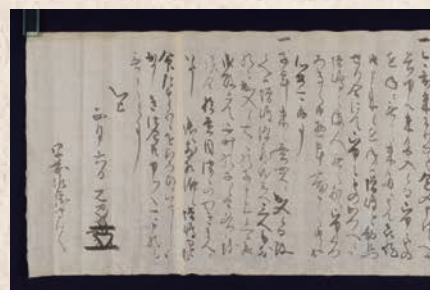
鄙の武士 —— 石見銀山を支えた人々



石見銀山は関ヶ原の戦い終結後、徳川家康の領有となり、以来260年余にわたり江戸幕府の財政を支えました。その中心的な役割を担ったのが「地役人」と呼ばれる土着の武士でした。彼らは初代銀山奉行大久保長安のときに召し抱えられたものが多く、鉱山や検地、町建てなど多様な技能や能力、経験をもち、石見銀山附幕領における初期の支配体制の確立に尽力しました。特に鉱山開発では石見銀山にとどまらず、佐渡や伊豆など幕府直轄鉱山の開発にも深く関与するなど、江戸初期における国内の鉱山開発に大きな役割を果たしました。本展覧会ではこのような江戸幕府成立期における彼らの活躍に焦点をあてて展示を行います。

また、銀山附地役人は、旗本・御家人などの幕臣ではなく、非幕臣という所謂武士の周縁に生きた人々でした。彼らの中には農地を所有し、貸家や金融業などの経済活動にも関与する者も少なくなく、陣屋から支給される禄米以上の収入を得ていました。このような経済的な豊かさを背景に茶道や華道、俳諧などに造詣を深めるだけでなく、その担い手として地域文化の振興に大きな役割を果たしました。

本展覧会では、こうした銀山附地役人の周縁性を「鄙」という言葉に置き換え、一般的な武士とは異なる彼らの存在形態について紹介します。



大久保長安書状（阿部家文書） 大田市所蔵



阿部光格習作絵画 大田市所蔵



陣羽織（山中家） 大田市所蔵

関連イベント

講演会

「大久保長安と宗岡佐渡」

10月17日（土） 13:30~15:00

講師：仲野義文（石見銀山資料館館長）



ギャラリートーク

① 9月27日（日） 14:30~15:00

② 11月28日（土） 14:30~15:00

陣屋 大森 ZINE 屋フェス

10月12日（月）祝 13:00~19:00

個人制作のマガジン「ZINE」販売のマーケット、書店、飲食店、音楽ライブなど

前庭・館内展示を含む一律入場料 大人 500 円 小人 250 円

武士の家に泊まろう

11月28日（土）～29日（日） 5名様1組限定

地役人を勤めた宗岡家の遺宅「まなびの宿 宗岡家」の特別宿泊プラン
郷土料理「へか焼き」夕食・朝食付き、現地解説ツアーほか

《宿泊場所》まなびの宿 宗岡家（島根県大田市大森町ハ159）

《金額》120,000 円（税込）

《予約・詳細》重要文化財熊谷家住宅 tel：0854-89-9003 QRコードより



石見銀山 まなびの宿 宗岡家



《会場》石見銀山資料館（いも代官ミュージアム） ☎694-0305 島根県大田市大森町ハ51-1

《開館時間》9:30~17:00 《休館日》火曜日（祝日の場合翌日）

《入館料》大人 600 円 小人 300 円／団体（20 名以上）大人 500 円 小人 250 円／障がい者 大人 300 円 小人 無料

※ 重要文化財熊谷家住宅、旧河島家と相互割引あり。